

令和5年度 第1回 宗谷管内学力保障会議

目的 児童生徒の学力保障に向け、市町村教育委員会、学校、教育局等が一体となって取り組む目標等を決定する。

開催日 令和5年5月18日(木) 13:00~15:00 方法 Web会議システム(ZOOM)

参加者 ・宗谷管内市町村教育委員会教育長 ・宗谷校長会 ・稚内市校長会 ・宗谷公立学校教頭会 ・稚内市公立学校教頭会
・北海道高等学校長協会道北支部 ・宗谷教育局

【挨拶】

宗谷教育局長 山崎 義一

- ・今年度の宗谷管内教育推進の重点である「資質・能力を確実に育成する学力保障～OVER70の実現、12年間継続する学力保障～」の達成へ向けて、地域学校の実態に即した教育課程を編成・実施し、**授業改革に取り組むこと**を目指す。
- ・本会議の内容は、教職員や保護者、地域住民にも伝え、**学校と家庭、地域住民と教育行政が一体となった「子どもの未来保障」の取組を推進する。**



【説明】

宗谷教育局教育支援課長 松浦 隆史



- 令和5年度「宗谷管内学力保障プラン」(案)について
 - ・総括的指標及び3つの柱の取組内容等について
 - ・授業改革に向けた「5つのポイント」について
- 取組の検証について
 - ・評価の時期、対象、方法、内容



協議 1

「令和5年度全国学力・学習状況調査の結果と要因」について

・R5全国学力・学習状況調査自校採点結果、Sサポート、チャレンジテストに係る意見交換

- ・実施後、子どもがどのように解答しているのか教員全員で分析を行った。国語、算数、数学において、**記述力に課題が見られる。読み取る力が不足していると考えられる。**
- ・ICTの効果的な活用、推進教員による授業改革、放課後学習や町の公設塾等の充実により、**伸びしろ層の子どもの学力が向上した。今後は、子どもの主体性を高めることがカギになる。**
- ・どの問題のどこで時間が足りなかったのかなど詳細に分析することで授業改革につながる。

協議 2

「学力保障に向けた取組の方向性」について

・令和5年度「学力保障プラン(案)」についての意見交流

- ・柱Ⅰに係り、教育委員会と教育局の連携による学力向上推進策の進捗状況の把握と支援について充実を図ることが大切であるとする。**授業改革については、どこに視点を当てるのか焦点を絞ることが必要である。**
- ・小・中・高12年でどのような資質・能力を育成するのか、地域で課題を共有し、校種間連携の強化が重要であるとする。また、**高校生が地域で活躍することが大切である。**
- ・「良質な課題(問い)」がある授業を行うことについて学校に伝えている。学校に対し、**どんな授業をすれば学校の課題解決につながるのか、今求められている資質・能力の育成につながるのか、具体を示すことが必要である。**

協議 3

「総括的指標の達成に向けた取組の推進」について

・管内全ての教育委員会及び学校、教育局における取組内容についての意見交流

- ・OVER70、目標指標「100%達成」は、管内が目指す目標値として明確である。**誰一人取り残さないことを目指すことが大切であり、そのためには、個別最適な学びの充実を図る必要がある。**
- ・学習習慣、生活習慣の確立のためには家庭でのスクリーンタイムの短縮が課題である。学力保障に向けた取組について、保護者、子ども、教員がそれぞれの立場で振り返り、検証を行うことが大切である。
- ・「何のために学んでいるのか。目標は何か。」キャリア教育を通して学びについて考える機会も大切である。

【まとめ～児童生徒一人一人の学力保障のために、学力調査問題の分析による授業改革を！！～】

義務教育指導監 千代 隆志

☆全国学力・学習状況調査の分析、活用に意を用い、実効的な授業改革を推進する。

☆例えば、「S-P表」を活用するなど、「誰が、どこにつまづいているのか」を明確にし、個の実態に応じた、対応の充実を図る。

☆記述力アップのために「Sアップ問題」の活用を図る。



担当者から

本会議で今年度の学力保障プランが確定しました。今求められている資質・能力を育成するための授業改革はどのようなものか、子どもが主体的に学びを進める学習とはどのようなものか、教師視点の「個に応じた指導」、学習者視点の「個別最適な学び」について、教育委員会と連携を図り、各学校に具体を伝えられるよう教育局としての役割を果たしたいと考えます。義務教育指導班主査 中山 智洋)